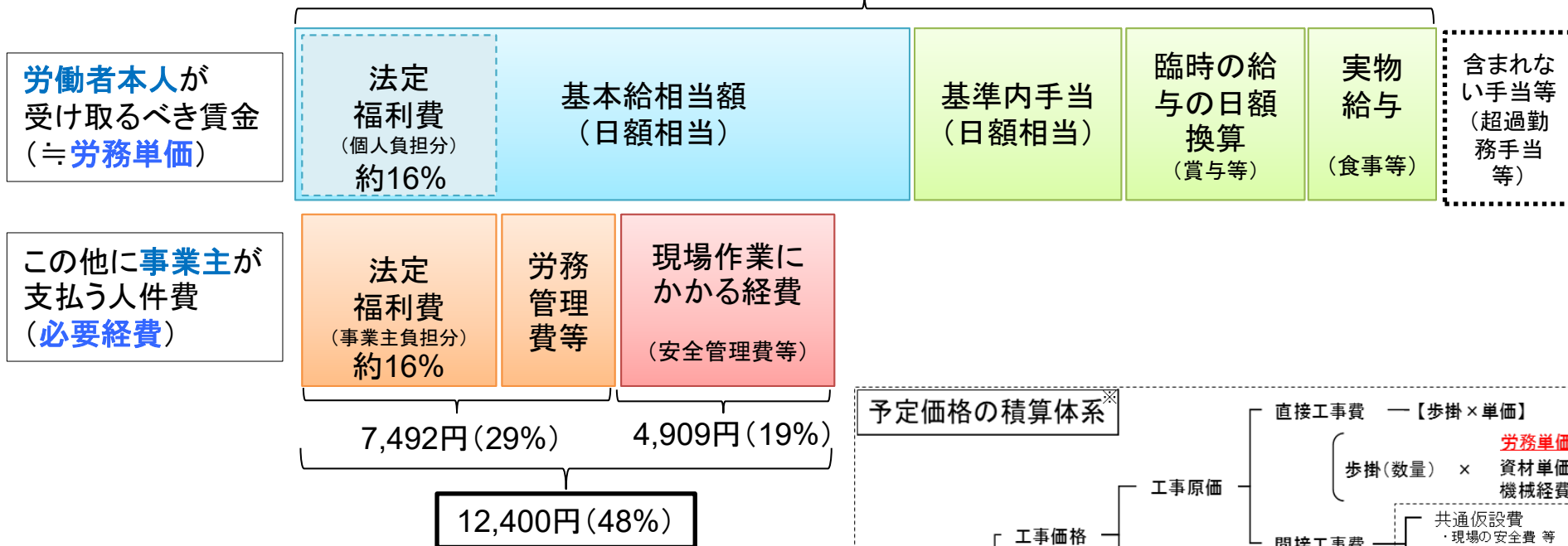


# 「公共工事設計労務単価」と「雇用に伴う必要経費」の関係

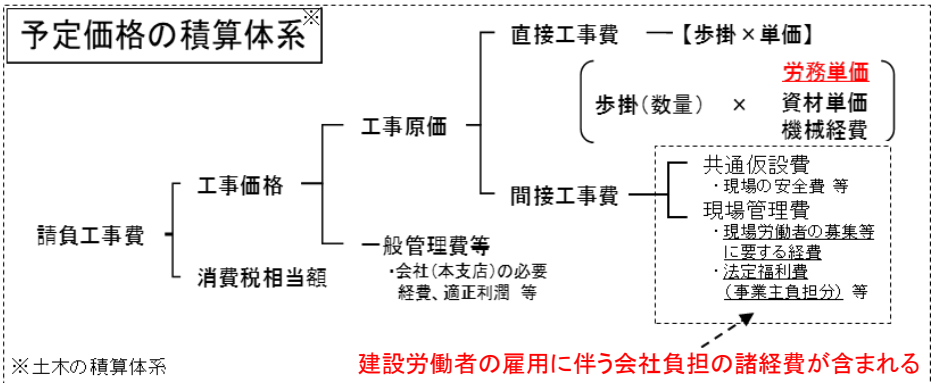
- 労働者本人が受け取るべき賃金を基に、日額換算値(所定内労働時間8時間)として**労務単価を設定**  
⇒ 例えば、日給制の労働者が受け取る日当よりも広い概念。法定福利費も全額反映
- 労務単価には、**所定時間外の労働に対する割増賃金**や、**事業主が負担すべき必要経費(法定福利費、安全管理費等)**、**工事施工にあたる企業の継続運営に必要な一般管理費等の諸経費は含まれていない**
- 事業主が下請代金に**必要経費分を計上しない**、又は下請代金から**必要経費を値引くことは不当行為**

## ※イメージ図

新単価の加重平均 25,834円(100%)



**労務単価が25,834円(100%)の場合には、事業主が労働者一人の雇用に必要な経費は、38,234円(148%)になることに留意が必要**



※土木の積算体系

建設労働者の雇用に伴う会社負担の諸経費が含まれる